

木目を読み・・・ベテランも大変！



簡単そうで難しい



なんて丸太だ！



結構積んだけど足りるかな



ふせんたん木酢液

東布施では昭和 40 年代後半に途絶えた炭焼き施設を旧田村小学校跡地に平成 10 年頃復活させ、製炭活動を行っています。年に 6 回ほど炭焼きをしており、販売はもちろん魚の駅生地の焼き魚に使われています。また殺菌、害虫・小動物除け効果のある木酢液も生産・販売しています。今回ここで薪割りを体験させていただきました。薪割り機を使うとのことで、そんなに苦労しないだろうと作業に取り掛かると・・・瞬でその想像ははるか彼方へ吹き飛び！ウエストより太い樺の丸太をセットするのでも一苦労。加えて木目を見極め回転させたり反転させたり・・・くさびが挟まり抜けない時は大きなハンマーで何度となく叩く。そんな苦労のおかげで終了後の薪が積みあがる姿は達成感そのもの。炭焼きが一層楽しみです。残していきたい伝統文化です。

三日市はかつてどんなところだった？



112 歳の百年桜の前で



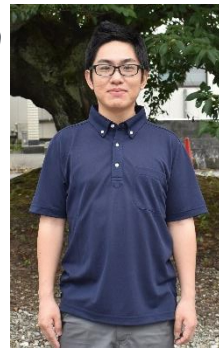
バタバタ茶作り

三日市公民館主催の三日市まち歩きが開催され多くの親子が参加されました。コースは百年桜→景勝桜→三本柿→旧加賀藩御宿「島家」→立山信仰ゆかりの仁王門。子供たちはカメラで桜を撮ったり、親御さんたちからは「知らなかったー」と言った声も。仁王門ではバタバタ茶を味わいました。三日市は鎌倉時代に親鸞聖人がお立ち寄りになったり、戦国時代上杉景勝が宿陣したり、江戸時代では参勤交代の北陸街道分岐点の宿場町として栄えたりと古い歴史が残る町。そして 3 と 8 のつく日に市があり賑わい、商店街となっていました。公民館では三日市の魅力を再確認するイベントを今後も企画していくそうです！三日市のまちなかガイドマップを手に取り、ゆっくり町を歩いたり、まち歩きに参加してみてもいいですね。

3 人目現る!!!!

はじめまして(^^)

このたび地域おこし協力隊になりました愛知出身の伊関健太（いせきけんた）と申します。黒部にはとやま移住旅行で初めて訪れました。その際に黒部の街並みや生活に触れて「いつかこういうところで生活したいね」と妻と話しておりました。そんな折に黒部市の地域おこし協力隊の募集を見つけ「お、これは黒部に行くタイミングか?」と思い、妻に相談。「いいじゃん！行こう!!」とすぐに了承してくれました。そして面接を受け、晴れて地域おこし協力隊になりました。今後は黒部の魅力を体験・発信しながら、自分のように移住を検討されている方のサポートを行っていきたいと思います。



チクタクチクタク、待遠しい開場



開場前からの行列!!!



アンティークな手作り真鍮時計

魚津市に Meu tempo という真鍮手作り時計工房兼お店があります。作家さんは黒部市内在住の移住者で、今年 4 回目となる「チクタク市」を開催されました。黒部からはお馴染み Cafe HAHAA さんも出店、飲食・古着・古本など富山県東部のお店を中心に来店され多くのお客さんで賑わいました。金太郎温泉のふもとで黒部からもすぐそのお店とイベント。来年のチクタク市も楽しみです。真鍮手作り時計工房・店舗は定休日の水・木曜、イベント日以外は開店してますよー☆

じんじんって何だ？



老若男女、昼も夜も大賑わい♪



じんじん祭りを見てきました。黒部に来て初めてのお祭りに妻と二人で楽しめました。このお祭り、起源は大正 14 年で当時の地神は扱いが粗末なのが、そのため地神のお咎めがあると困るので合祀され毎年 6 月 25 日にじんじん祭りが行われるようになりました。「じん」が「じんじん」になまったそうです。僕は初めてあんばやしを買いましたが、ルーレットを回して出た数だけもらえるというのは面白いなあと思いました。他にもタピオカミルクティーのお店があって多くの方で賑わっていました。

ちやべちやべと通信

Vol.9 発行
2019.7.12

黒部市 地域
おこし協力隊
隊員

小澤 泰史
(愛知出身)
夏の楽しみ
石田浜で
七輪 BBQ

伊関 健太
(愛知出身)
夏の楽しみ
・花火大会
・そうめん
・BBQ

Facebook
も見てね☆



ついにやってきた海開き！
しかし出てきた下っ腹！
まだ間に合うかダイエット！
今年の夏は頑張ります！

伊関心のつづき

黒部川「お光と大蛇伝説」と伝統の愛本ちまき



だんごは一つずつ大蛇の鱗状に



伝えられる難しい伝統技



僕の出来なかった角結び



丁寧に並べて湯切り



愛本姫社に向かう仮装行列



かわいらしい愛本ちまき踊り



新婚旅行へ向かう



ご神体は溪斎英泉の描いた花魁

下立に伝わる黒部川の「お光と大蛇伝説」。お光は大蛇に嫁ぎお産の際母親に蛇の姿を見られ縁を切り、ちまきを別れ形見として置いていきました。これが愛本ちまきと言われ、何年たっても腐らない縁起物として伝わっています。このちまきは毎年6/21の愛本姫社祭りで販売されています。今年はちまき作り現場を直撃！お祭り前日早朝から地域の方がちまき工場に集まり地元のコシヒカリを原料の一つずつ大蛇の鱗に見立てただんごを4枚の笹で包みとび形状にいきます。これを8本の束にしたら、今度は大鍋で8分間茹でて湯切り。この茹で汁は笹茶として飲まれていました。ちまきは包み方が伝統技法で難しいもの、僕では到底作れそうになく、束にする時の角結びを教わりましたが、習得できず…。出直したいと思います。お祭り当日、8時からと13時からちまきの販売があり、みるみるうちに売れていきました。仮装行列ではお光と若侍に化けた大蛇が愛本姫社へ行き結婚の儀、その前後には宇奈月小学生女子生徒がかわいらしい愛本ちまき踊りを披露します。愛本姫社のご神体はゴッホも模写したと言われている溪斎英泉の花魁です！知っていましたか？毎年6月21日にのみご神体を拝むことが出来ますよ。

子育てのお悩みはくろてんズにお任せ☆



まずは情報やお悩み共有



個別に相談も受けてくれます♪

「くろ」べに「てん」にゅうしてきたママとプレママの集まりの『くろてんズ』。初めての地での子育てや生活の不安、知り合いもいない方同士の交流や悩み相談の場として作られ、今ではより快適な暮らしが出来るように転入者(移住者)だけでなく地元の方も大歓迎で活動されています。くろてんズさんは月イチサークルを毎月第2火曜日に宇奈月子育て支援センター(10:30~12:00)で行っており、転入したての方はもちろんリピーターさんが集まり情報や悩みを共有・解決されています。友達を作る場にも最適。申込不要、参加無料で安心！ママもプレママも交流や情報収集、お友達作りに参加してみてくださいね。お問い合わせ先は宇奈月子育て支援センター(0765)65-2455

- ・あっという間に7月ですね！黒部は石田浜海水浴場もあり夏も自然で遊べる恵まれたところですよ☆今年も七輪BBQしながら、釣りしたり泳いだりボケっとするのが楽しみです!!
- ・稲もすくすく育ち、緑に満ちた田園風景も心を落ち着かせる一つですね。夏野菜もいただいたり食でも「夏」という四季を感じます☆
- ・新隊員も着任し2人体制復活です！優しく見守って下さいね！
- ・Facebook もちゃべちゃべと更新中！見てくださいね～☆

小澤、伊関(黒部市役所内) (0765)54-2115

移住先に黒部はいかが！？



各地域の雰囲気を感じます



山本家の囲炉裏を囲んで交流

関西から移住を検討されている方が、とにかくアルプスが見え、かつ海も近い富山が気になるのとこと。なんと初富山県が黒部だそう。スーパーや施設などの位置を確認しながら海側から徐々に山側へ車を走らせ、空き家の場所とイメージが合うかを確認していき次回に向け、内覧したい場所等を一緒に検討していきましました。お泊りは黒部の自慢の古民家「山本家」。囲炉裏を囲んで管理人さんと交流を図っておられました。地域の人と話すとお黒部の情報を収集したり、黒部に馴染みの人が出来るきっかけになります☆山本家はそんなところでもあります！

クイズ！？黒部のコト

黒部を走る北陸街道は上街道と下街道がありますが、上街道と下街道の別名は何でしょう？

前号のクイズの答え

愛本ちまきです。愛本姫社祭りではちまきを地域の方が前日からひとつひとつ丁寧に作ります。蛇のうろこ状のだんごを鳶型に笹で巻きます。縁起ものです。